

令和5年度第1回大磯スポーツ推進審議会会議録

- 日時 令和6年3月8日（金） 午前11時～正午
- 場所 大磯町役場本庁舎4階第2委員会室
- 出席者 会長、副会長ほか2名
- 事務局 スポーツ健康課長、スポーツ健康課職員
- 傍聴者 0名

議題

（1）大磯町スポーツ表彰について

事務局：（資料説明）

○質疑応答・意見

【委員】 小学生など低年齢のお子さんに対してゴルフの裾野は広がっているのか。

【事務局】 今大会で優勝された方は、予選大会を勝ち抜いて、決勝大会で優勝した。

予選大会の出場人数はわからないところはあるが、決勝大会では35名の方が出場され優勝した。コナミスポーツクラブの会員の中での大会ではあるが、全国的に展開されており、裾野としては広いものと考えている。

【副会長】 表彰の基準は概ねこの基準に基づいたものか。

【事務局】 優秀賞については、多くは大磯町スポーツ表彰要綱の第4条第1項第3号の「全国規模の競技会等において、優勝、準優勝又は第3位に入賞したもの」又は同じく第4号の「前3号に掲げる競技会等に準ずる競技会等において優秀な成績を収めたもの」のどちらかの基準に基づいて表彰の対象となる。

【副会長】 県大会で優勝や準優勝した場合は何も表彰等はないのか。

【事務局】 県大会で優秀な成績を収めた方については、スポーツ表彰とは別にスポーツ顕彰という手続きがあり、申請をいただければ広報や町のホームページに別途掲載させていただいている。

【委員】 スポーツ表彰はどのように周知しているのか。

【事務局】 広報やホームページで周知させていただいている。

【委員】 知らない方も多いかもしいないので、漏れのないようにしていただきたい。

【事務局】 新聞やタウン誌などで優秀な成績を収められた方が取り上げられている場合もあるので、どのような手段でできるかわからないが、お声掛けがで

できれば表彰させていただきたいと考えている。

(委員承認)

(2) スポーツ団体に関する補助金について

事務局：(資料説明)

○質疑応答・意見

【委員】 小諸市との交流事業について今まであまり知らなかったものでどのような事業か教えていただきたい。

【事務局】 昭和 52 年から始まっている事業で、令和 6 年度で 47 回目となる。大磯町と小諸市の体育協会がスポーツを通じて交流を行うもので、令和 4 年度は小諸市で少年サッカーを令和 5 年度は大磯町の星槎湘南国際高校グラウンドで同じく少年サッカーで交流を図った。令和 6 年度については、小諸市にてグラウンドゴルフで交流を行う予定である。

【副会長】 この予算で一番大きいのが体育協会の補助金と交付金である。具体的な内訳はどうか。

【事務局】 後ほどご説明させていただく予定だが、資料 3 において、令和 5 年度の主なスポーツ大会などの実績を記載しており、主催が大磯町体育協会となっているものが補助金や交付金を充てている大会となっている。

【副会長】 スポーツ推進委員で研修に行った場合の費用はこの資料には載っていないのか。

【事務局】 この資料は補助金や交付金のみなので記載がない。スポーツ推進委員運営事業として町の予算の中に組み込まれており、研修に行く交通費や参加費などを別途計上している形になる。

【会長】 コロナも収束してきてスポーツが盛んに行われてきている。昨今スポーツにおいては自主的、自立的に活動することが求められているが、自治体の支援はなくてはならないものである。予算は限られているものなので、町としても効果的にお金が行き渡るように使っていただきたい。姉妹都市については、委員のご発言があったようにあまり知られていない部分がある。しかし、いろいろ聞いていくと 47 年実施されているということで広報の仕方をご検討いただきたい。

(委員承認)

(3) スポーツ関連行事について（令和5年度・令和6年度）【資料3】

事務局：（資料説明）

○質疑応答・意見

【委員】 イベントの参加実績はどのような状況か。

【事務局】 町主催の事業においてになるが、例年1月に実施する大磯一周駅伝大会では、令和4年度は15チームしか参加がなかったが、令和5年度については、30チームの参加となり倍増した形になった。その他、各種スポーツ教室を開催しており、子ども水泳教室を夏に実施しており、照ヶ崎プールと国府小学校プールで開催している。照ヶ崎プールでは、60名募集のところ46名の方がご参加いただいている。国府小学校プールでは、58名がご参加いただいた。2月に大磯町体育協会にご協力いただき実施したバドミントン教室では、今年度は少なかったが4名のお子さんとその保護者の方にも一緒にご参加いただいた。また、今年度新規でスポーツ鬼ごっこ教室を実施した。秦野市のF I K A総合型クラブにご協力いただいて、6月と11月に実施し、6月は国府小学校体育館で43名の方が参加し、11月は大磯小学校体育館で24名の方にご参加いただいた。令和6年度も引き続き行っていきたい。ウォーキングサッカー教室は星槎湘南総合型スポーツクラブにご協力いただき実施した。令和4年度は13名の方の参加だったが、令和5年度は22名の方にご参加いただき、参加者の方が増えているので今後も続けていきたい。

【副会長】 室内設備は学校施設で対応している。学校行事は優先だと思うが、他の団体が行事をやるときに学校行事を制限していることはあるのか。使用状況を伺いたい。

【事務局】 町がイベントを行う場合やスポーツ開放をする場合は学校活動の支障のない範囲で実施している状況であると認識している。まず、学校の予定を聞いた上で空いている場合にイベントや開放を行っている。

【委員】 今月、卒業式の準備をしてお貸しできない状況で申し訳なく思っているが、年間通して体育館等をご利用いただいている。以前、綱引き大会の会場として利用されたという経緯もあり、使いやすい印象を受けている。学校行事については、いつもお問合せいただいているので問題なくご利用いただいている。

【副会長】 いろいろな団体が利用していると思うが、町が管理しているのか。

【事務局】 町としては、前月に当月の学校の予定を伺って、空いている日をスポー

ツ開放としてご利用いただくというのが基本の流れになる。スポーツ開放以外にもっと先の予定で学校を利用したいといった場合にも学校で年間のスケジュールが決まっているので、その中で予定を聞いて、空いている日をイベント等で行っている状況である。そのため、まずは学校優先というスタンスは変わらない。

【副会長】 体育館を建てる予定や構想はあるか。

【事務局】 運動公園にプールと体育館を建てる予定だった。当時は予算がなく建てられなくなってしまった。ただ、町民のアンケートで一番要望していたのが、スポーツジムや体育館だった。グラウンドや野球場よりも先に体育館等を整備していれば利用率も高まって良かったかもしれない。ただ、現状として総合計画に載せていかないと実行に移していくことができない。庁舎、消防庁舎、学校の建て替えがある。一つの自治体でいろいろ持つのは難しいところもある。そのため、ごみの広域化や消防の広域化をやっている。

【副会長】 岩田記念室内競技場はどこで管理しているのか。

【事務局】 福祉課である。ただ、スポーツ競技を行うには床がコンクリート打ちで、天井高が非常に低いので競技が限られてしまっている。マーチングバンドや吹き矢に使っていただいているが、転倒したときやいろいろ考慮すると利用方法が限られている。

【会長】 学校施設などスポーツを推進する上で場をいかに作るかというところが議論されているところである。やはり体育施設を持っているということと日本の中で学校が一番多い。いかに地域に開放していくかどの地域でも課題となっている。ただ、学校教育を行う場所なので、学ぶ環境をしっかりと作っていくのはもちろんだが、スポーツも推進していかなければならないというところで、どこまで歩み寄りができるか、学校が聖域化してしまうと地域の課題解決が難しい部分があると聞いている。根気強く話し合っていくことが重要である。この時期はどの学校でも卒業式があり、体育館が使えないということもあり、大学の体育館を使わせてほしいという話が10年前くらいからあった。初めは大学側も費用をどうするかという話もあったが、学生がそこで中学生と関わる部分もあり、教育効果があったり、地域の方に存在感を示すということができたり、公立の小中学校と違うかもしれないが、重ねていくということがお互いの立場もある中でうまくやっていただければと思う。

また、走り方を知る教室を9月に実施するというので10月に行う運動会と連動している。5月とかだと熱が冷めてしまうので、スポーツを続けて

いく子どもたちにとって大事だと感じる。点で終わってしまうのは残念なので、点がどうやったら線や面になるのか考慮して行っていただきたい。

最後に日本ではジェンダーギャップがあり、小学5年生以上の女子のスポーツ離れが格段に進んでいく。中高生の女子のスポーツ実施率がかなり低くなっている。第二次成長期の問題であつたりとかいろいろな問題はあるが、そういった状況を踏まえて女性が参加できるスポーツプログラムが少ないと思う。これだけ多くの行事を行っているので、特に小学生高学年以降の女子をターゲットにした教室を行っていただければと思う。スポーツ鬼ごっこは一つのゆるスポーツだと思うので可能性を見出せていければと考える。

(委員承認)

その他

事務局：(スポーツ表彰式の日程等事務連絡)

閉会